

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年5月17日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年5月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(B)(C)圧力伝送器の計器元弁のシート漏えいについて】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備(B)(C)の圧力伝送器3台の点検において、計器校正による加圧の際に圧力保持ができないことを確認。 調査の結果、当該圧力伝送器の配管継手および計器元弁からの外部への漏えいは確認されなかったため、計器元弁のシート漏えいによるものと推定。 なお、当該計器元弁は通常「開」運用であるため、運転に影響なし。 今後、当該弁の点検または交換を実施予定。</p>	GⅢ	5月11日
2	<p>【1/2号中央制御室の屋外放射線監視盤のアナログ対数計(MP-8)の指示値精度外れについて】 協力企業作業員が、1/2号中央制御室の屋外放射線監視盤のアナログ対数計(MP-8)の点検において、校正ポイントNo. 1~6のうち高レンジの校正ポイントNo. 6に指示値の精度外れ(許容範囲 <math>5.1 \times 10^5 \text{ nGy/h} \sim 7.1 \times 10^5 \text{ nGy/h}</math> に対し <math>5.0 \times 10^5 \text{ nGy/h}</math>)を確認。 当該対数計の指示値のみの精度外れであり、検出器単体の精度は問題なし。 なお、当該1/2号中央制御室の屋外放射線の指示値については、免震重要棟および新事務本館に設置のモニタでも監視可能。 今後、当該アナログ対数計の点検または交換を実施予定。</p>	GⅢ	5月11日